

ちよつと寄り道しませんか？

広報室 224-5495

小江戸川越検定の設問からテーマを選び、まちの魅力を紹介します。

設問 毎年12月3日に「西の市」が開催されるのは？

- ①喜多院 ②成田山別院 ③川越熊野神社 ④蓮馨寺

川越まつりまであと一週間。良い天気と誘われて川越熊野神社へ。境内にある「足踏み健康ロード」は地元の皆さんだけでなく、観光客にも人気です。平成19年には川越銭洗弁天が再興され、毎月第三日曜日には縁日が行われています。また、毎年12月3日は市内で唯一の「西の市」が開催され、夕方から威勢の良い掛け声と手締め音が響きます。



川越まつりが終わったある日の夜、大正浪漫夢通りを歩いていると、どこからともなく囃子の音が聞こえてきました。音に誘われるように境内へ入ると、囃子の練習中。「毎週金曜の夜は練習しているよ」と皆さん。たゆまぬ練習が、川越まつりの華やかさを支えています。



答え③



柿

日本のみならず、アジアやヨーロッパでもその名前が通用する「柿」。川越で多く栽培されている「富有柿」は、明治時代に「この柿を作れば農家に富がある」ということから命名されたとか。市内で富有柿を栽培する内田朔さん(69才・鹿飼)は「せんていはしますが、無農薬です。」



虫や鳥にも食べさせ、きれいに残った柿を直売所に出荷しています。樹齢30年の柿の木1本で約800個・200kgも収穫できるそうです。川越の柿は直売所だけでなく、市場にも出荷されています。ミカンの約2倍あるビタミンC、ピーマンとほぼ同量のカロテンなど、栄養豊富な旬の柿を食べてみませんか。



種に当たらない切り方



表面の4つの溝に合わせて包丁を入れると種を切ることが少なく、むきやすくなります。また、ヘタの部分は甘味が薄いので、大きめにカット。

編集後記

どんぐり

花に関する情報を二つ市民の方からいただきました、10月17日に現地へ。一つは返り咲きのソメイヨシノ。めつたに見られない柿との共演です。もう一つは田んぼ二反分のコスモス。一面に広がる鮮やかな色に思わず足が止まりました。深まる秋をさまざま色が演出しています。

